

# 【国語・小4・中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを伝えよう】①

## 育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 比較や分類の仕方、必要な語句の書きため方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や辞典の使い方について理解し使うことができる。 (2) イ

(思、判、表等) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 B ウ

(学びに向かう力、等) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## ICT活用のポイント

児童の学習状況に応じた支援を行うことで、児童が粘り強く言語活動に取り組めるようにする。

### 「伝統工芸のよさを伝える

### リーフレットを作ろう」

#### 【つかむ】

群馬県の伝統工芸について調べ、リーフレットにまとめるという学習への見通しをもつ。

### リーフレットを作って、群馬県の 伝統工芸のよさを家族に伝えよう

#### 【追究する】

家族に群馬の伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作る。

#### 【まとめる】

友達とリーフレットを読み合い、仕上げる。仕上げたリーフレットを家庭で保護者に読んでもらう。

## 事例の概要

- リーフレットのモデルを分解したものを児童のICT端末に送り、正しく並べ替える活動を行う。【事例におけるICT活用の場面①】
- リーフレットを作成するうえで必要な情報（リンク集）やヒントカードを児童のICT端末に送る。【事例におけるICT活用の場面②】
- 児童はICT端末上でリーフレットを作成し、出来上がった作品を学習支援ソフト上で共有して読み合う。【事例におけるICT活用の場面③】

## 児童の作品



写真③



写真②



写真①



### 桐生織 個性と技術の高さ

桐生織は、桐生市周辺で作られている織物です。桐生織は、千年以上の歴史があり、七つの織り方の技法があります。ここでは、桐生織について紹介して行きます。

その一つは、「個性」です。桐生織は写真①のようにこうたくと、縞がある「お召織」また、写真②のように八色以上の縞糸でもようを表すため豪華な「ぬき錦織」があります。このような織り方は、国の伝統的工芸品として指定されて、それぞれの個性があります。

また、「技術の高さ」も桐生織の魅力です。写真③のように、絵画織は、本物に見えるほど細かな表情や、絵画の持つ風合いが表現されていることからデザイン性、技術の高さがわかります。

このように桐生織はとても魅力のある織物なのです。僕はこの素晴らしい桐生織をみんなに知って欲しいと思います。

参考  
群馬桐生織ニッポンのワザ「手にしよく」

# 【国語・小4・中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを伝えよう】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】 《モデル文で構成をつかむ》

- 学習支援ソフトでモデル文の並べ替えに挑戦



- ・「初め」「中」「終わり」の構成で書くと読みやすいな。
- ・伝えたいことを表す写真を付けると読みやすくなるな。
- ・最後に「参考」として出典を示すんだな。

## 【事例におけるICT活用の場面②】 《リーフレットを作成する》

- ウェブブラウザで情報収集  
(リンク集と教師からのヒントカード)
- 文章作成ソフトで入力



リンク集の活用

- ・自分の端末で手軽に調べられるな。
- ・ICTでの入力は修正がかたんにできるぞ。

## 【事例におけるICT活用の場面③】 《出来上がった作品を読み合う》

- 学習支援ソフト上で全員の作品を共有
- 互いの作品への感想や質問を伝え合う



- ・お家の人に伝えるように工夫されているな。
- ・伝統工芸の魅力について友達はこんなに工夫してまとめているんだ、すごいな。



## 活用の効果

- ICT端末を使うと、手軽に操作したり、入力した文章を容易に修正したりすることができ、児童の「書くこと」への抵抗が減る。
- 学習支援ソフトウェアを使うと、成果物を即座に共有したり、児童の進捗状況に合わせて資料を提示したりするなどして、教師が支援を行いやすい。
- ◆キーボード入力については、常時活動や長期休業中の課題として扱うなど、児童が習熟できるようにする必要がある。